

「特集」

すぺりあ佐屋

- 誰にでも快適なマンションをめざし -

《発行》平成18年(2006)12月1日
《発行者》スぺリア佐屋管理組合理事長

「特集」

“明日起きてもおかしくない”東海地震に備えて

「いつ起きてもおかしくない」とされる“東海地震”や太平洋岸で今世紀前半での発生が懸念されている“東南海・南海地震”という大地震が発生した場合、愛西市は、著しい地震災害が生じるおそれがあるため「地震防災対策強化地域」「東南海・南海地震防災対策推進地域」として国から指定を受けています。

東海地震は、唯一予知でくる可能性が高いと言われています。そのため気象庁では、前兆現象をとらえるため、24時間体制で観測しています。観測データに異常が発見された場合には、前兆現象としての進展度合いに応じて「観測情報」「注意情報」「予知情報」の3段階の地震情報が発表されます。

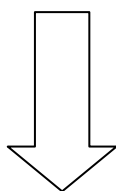
「東海地震に関する情報の流れと防災対応」

観測データー異常発見



観測情報

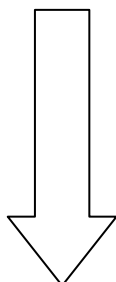
観測された情報が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合に発表されます。
住民の皆さんは平常通りの生活をして下さい。



異常増大

注意情報

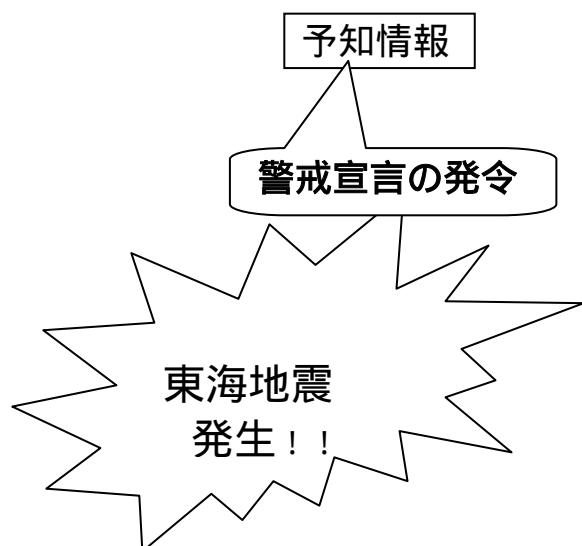
観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表されます。
住民の皆さんは出来ることから行動(対策)をして下さい。



学校の児童生徒等の帰宅。

防災関係機関は準備行動の開始
旅行・車の使用自粛の呼びかけ

異常増大



東海地震の発生の恐れがあると判断された場合に発表されます。同時に内閣総理大臣から警戒宣言が発令され、本格的な防災体制が敷かれます。住民の皆さんは地震の発生を十分に警戒し、落ち着いて行動をして下さい。警戒宣言が発令されると、大地震に備えて社会状況も大きく変わります。警戒宣言発令時に混乱しないよう社会の動きを理解しておきましょう

警戒宣言の伝達方法

警戒宣言は、テレビ・ラジオの報道のほか、サイレン信号・広報車でわたくしたちに知らされます。

警戒宣言を知らせるサイレン信号

45秒吹き鳴らし

15秒休止

45秒吹き鳴らし

適宜繰り返し

「警戒宣言」が発令されたら... 《主な社会状況》

電気・ガス・水道

供給が継続される。（電気・ガスは出来るだけ使用しない。水は普段から溜めておく。）

コンビニ・スーパー・デパート等

耐震性のある店舗は、店舗の判断で営業が継続される。

病院

耐震性のある病院は診察が継続される。

電話

緊急通信確保のため、通話制限もある。携帯電話も同じ。

金融機関（銀行・郵便局など）

窓口業務は停止し、一部のATMは使用できる。

（いちい信金 佐屋支店は窓口業務、ATM 共閉鎖されます）

道路・高速道路

避難道路及び緊急輸送道路確保のため交通規制される。強化地域内への流入規制もある。

鉄道

強化地域内への侵入を禁止し、最寄りの安全な駅などに停車する。
(名鉄津島線 須ヶ口以西は運行が停止されます。)

愛西市内の公共施設(避難所)

自主避難者の受け入れ準備をする。
市では地震発生前の自主避難者については、非常食等の配布はされません。
各自で準備して下さい。

注意

予知ができない場合も...

前兆現象が小さくて観測できない場合や前兆現象から地震発生までが急激に進行し、時間的に余裕がない場合なども想定されます。これらの場合は、注意情報や予知情報が発表されないまま地震が発生することもあるので、日頃からの防災対策が重要です。

東海地震発生後の状況

震度6弱～震度6強の地震が発生したとして

- ・ 強い揺れが1分程度続く、地盤が軟弱であればそれ以上続く。また、直下型にも断層と海洋型(プレート境界)で揺れが違います。
(阪神・淡路大震災の揺れは約20秒とされている。)
- ・ 埋立地や地盤の弱い地域では地盤の液状化が発生する。
- ・ 余震活動
本震直後から余震が多発。
本震よりマグニチュードが“1”程度小さい最大余震の可能性
- ・ 延焼火災
消火資機材・水不足等による延焼の拡大も予測される。

ライフラインの状況

- ・ 電 話 : 発生直後に被害発生により、一般電話は使用不能
応急復旧に約12日間
携帯電話も基地局の破損等で使用が出来なくなる恐れがあります。
- ガ ス : マンション内の配管の損傷状況によるが、相当数の日数が掛かる。
- 上水道 : 発生直後には70～90%の断水が予測されます。
その応急復旧には最大約30日間は掛かると思われます。
マンション内の配管の破損状況にもよります。
(マンションには約100トンの水槽があります。設計上は震度7までは耐えられるとされています。破損しなければ発電機で汲み出しが出来ますが、1住戸当たり約300Lです。)
- 電 気 : 発生直後に停電発生、応急復旧に約6～12日間
(マンションの受電設備、配線等の破損状況にもよる。)
- 浄化槽 : 浄化槽の破損はなくても、水、電気がないと使用できません。
また、マンション建物内の配管の破損、建物から浄化槽までの配管の破損があると使用はできません。

エレベータ : 震度4を感知した時にエレベータは最近階で止まり扉が開く装置が取り付けられていますが、今回、P波(初期微動)を感知してエレベータが止まる、より安全な「地震時管制運転装置」を取り付ける予定をしています。

災害用伝言ダイヤル

覚えて下さい、災害時の声の伝言板。 「171」

災害時には一般電話、携帯電話共使用不能になる恐れがあります。家族や友人等の安否の確認等ができる、「災害用伝言ダイヤル」をNTTが開設します。

伝言の録音方法 : 「171」にダイヤルする。
(届ける) ガイダンスに沿って『1』をダイヤル
ガイダンスに沿って電話番号を市外局番からダイヤル
メッセージを届ける

伝言の再生方法 : 「171」にダイヤルする。
(聞く) ガイダンスに沿って『2』をダイヤル
ガイダンスに沿って電話番号を市外局番からダイヤル
メッセージを聞く

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。
一般加入電話、公衆電話、携帯電話からも利用できます。

避難場所

「警戒宣言」が発令され災害対策本部が設置されたら愛西市指定の避難所に避難することができます。

須依町の指定避難所は「佐屋中学校」「佐屋小学校」「佐屋児童館」「中央図書館」です。出来るだけ纏って避難したいので、当マンションは「佐屋中学校」としますが、勿論他の避難場所でも受け入れてくれます。

旧佐屋町では「美和多保育園」となっていますが、「美和多保育園」は緊急時協力避難施設に愛西市なり変更されています。避難所へは特別の理由がない限り、車での避難は出来ません。又、自主避難者については非常食等の配布はありません。

非常食の備蓄

災害時 愛西市の非常食の備蓄はありますが少量です。

行政に頼ることなく、飲み水、食料は各自で最低3日分は確保しましょう。

他にも、非常食品、携帯ラジオ、懐中電灯、応急医薬品、貴重品、日用品等の非常時持ち出し品の用意を常に準備して置く事が大切です。

(愛西市の東海地震に関する資料より抜粋した。)